

## ■第11回神戸文学賞受賞作品

## 蓮子の父と「わん」〈1〉

## 瞑父記

田能 千世子

絵／堀江 優



M-HORIE

蓮子の父が芥川龍之介のある短い作品の中にちらっとあらわれる。ほんのちらっと姿を見せるだけだが、芥川の独特な諷刺と冷笑を浴びてびしりと打ち据えられている。

はじめてその作品に出遇ったのは蓮子が十五歳、女学校三年生の夏だった。そこに描きだされている人物が父だとすぐにわかった。もしや、と疑う余裕はなかった。蓮子はそのページに瞳を落としたまま、自分のうろたえた胸の鼓動をきいてしばらくじっとしていた。ようやく脈がふつうに戻ると、入れ替って冷えびえとした暈りがわきだしてきたのをいまでもありありと憶いだす。

その暈りは父と芥川の両方に向けられていた。芥川の方は本を閉じて押しやり、以後その作品を読まなければすむことだったが、父の方はどうにもおさめきれないものがわだかまって、半世紀近くたってもすっきりしないままだった。

父は十五年前に八十二歳で亡くなった。芥川に皮肉られた、またたしかに父の中に棲んでいた蓮子も感じたいやな、気疎いものは、最後は好々爺の姿になって消えていった。しかし、それは小さな黒い染みになっていつまでも父の背中に生きていた。その染みは自分の中にも受

け継がれて潜んでいるのではないかと思うと、蓮子は気が滅入るのだ。

そういうわけで、芥川龍之介の作品について語り合う会をするから、と誘われたときには、ほんとうは断わりたかったのに、なぜかそうはしなかった。年月が過ぎて父も芥川も生あたたかい水の中に泛ぶようになったせいかもしれない。

蓮子と仲間の五人はときおり集まって本を読んだり喋ったりする。人を招いて話を聴くこともある。どうしていま芥川なの、といつもグループの中心にいるM子に訊ねると、とくに理由もないけれど、いい若い講師の先生を見つけたから、という返事だった。その講師のSさんは彼女の娘の友達の兄なのだそうだ。Sさんが蓮子の父の登場するあの作品に触れることはまああるまいとおもわれるが、もし触ればどういうか聞きたいものだ心が動いた。

出席すると決めると、蓮子は書棚の奥から埃をかぶった芥川龍之介全集をとりだした。例の小品が気にはなつたが、改めて読もうとはおもわなかった。だが自分勝手な一方的な理由で好感を持てなかった作家の、この全集

本の最後の方に、たしか佐藤春夫の追悼のことばが載っていたのを憶いだしたのだ。その文章のなかで、春夫が芥川に、もっと気楽に心中にうずくまる何者かを吐き出せば、と忠告すると、ぼくは見え坊だから、と芥川が連呼した、というところが妙に鮮やかに記憶に残っている。それを読んだとき、ちよっと胸のすくような気持を味わったのも憶いだした。

蓮子の住んでいた甲子園の家は、太平洋戦争の最末期、広島に原子爆弾が落とされる二日前に空襲を受けて全焼した。本もすべて灰になってしまったから、この全集本は戦後のものである。昭和二十八年九月、筑摩書房発行の現代日本文学全集26となっている。全集が全部揃っているわけではない。当時の乏しいやりくりの中から、気になる一冊だけを買ったのだ。

うしろの方からばらばらとめくってみた。すると、本のあいだからノートの切れ端がはらりと落ちた。拾ってみると黄土色に変色した紙に乱暴な字が書きなぐってある。

そうだ……。これは蓮子が芥川のあの作品に出遇ってから三年ほどして書いたものだ。どういうわけか焼け残ったわずかな衣類の中にもぐりこんでいたのをここに挟んでおいたのだ。そのころの蓮子はまだ女学生で、ただ本を読みあさるだけの、世間のことはなにも知らない娘であつた。ただ、あの作品によつてめざめたどうしようもない父親へのわだかまりを、なんとかして吐きだしたいと、そのひたすらな気持がこんなものを書かせたのだらうか。

それはこう書き出されている。題はついていない。

「花巻大助といえ、大正時代の終りから昭和のはじめにかけて、ひじょうにもてはやされた作家である」

「花巻大助」とはどこから思いついた名前であらう。漫画の主人公に適わしいようなこの名前は、ごつい体つきをした金縁眼鏡の中年男かなにかを想像させる。この文章を書くときの蓮子に芥川の秀麗な相貌を毀したいと

いう思いがはたらいていたのかもしれない。文章はつづいている。

「彼の書いた作品の中に私の父のことが書かれているのを発見したのは女学校の三年生のときであつた。どうしてそんなに女学生向きでもない花巻大助を読もうという気になったかという、父が晩酌の肴に、俺は若いころ汽車の中で花巻大助に出会い、その夜はいっしょに酒を飲んだ、とくりかえし話していたからである。

父は、小説を書く人間などは頭から軽蔑していたので『前髪をばらりと額へ散らして、蒼い顔の高慢きなヤツだった』と悪口をいってばかりだったが、高名な、しかも若くして自殺した天才と一夜だけでも同席したのを内心自慢にしているのだ。だから私は本屋で花巻大助の本を見かけると、一度読んでみようかとおもつて買った。

早速開いてみたが、そのときはまだその中に父が書かれているとは全然知らなかった。父ももちろん知るはずがない。知っていれば、あんなに朗らかに花巻大助の話はできないだらう。

ところが、おどろいたことに、父が登場していたのだ。花巻はわが父を、人間の尊厳を下劣な手段で試す者として、『下関』という作品の中に描いていた。私は読んでいて顔が赤くなった。情なかつた。『下関』はこのように始まっている。」

ここまできて蓮子は苦笑いをこらえかねた。十八歳の蓮子が花巻大助、つまり芥川龍之介になりかわつて『下関』という作品を創作しているのだ。芥川に『下関』などという作品はない。どんな話をつくりあげたのか蓮子も忘れていた。気恥ずかしさで眉をしかめながら読んだ。

——僕は下関に所用があつて東京発の夜汽車に乗つた。二等寝台をとつた。東京を離れるにつれて窓外の灯りは佗しくまばらになっていった。それを数えているうちにいつか眠ってしまった。

翌朝、おはようございます、と白い詰襟の制服を着た

ボーイに起こされた。ベッドをたたみすから、という顔を洗って戻ると、ベッドはきれいに片づけられて、濃いブルーのソファに変っていた。両側の窓に沿ってソファは横に並んでいる。朝日が広い窓から明るくさしこんで来た。何人かの乗客がそれぞれ楽な姿勢でかけている。僕から少し離れたところに十歳ぐらいのオレンジ色の服を着たおっぱあたまの女の子を連れた婦人がいた。小柄な彼女は長い旅ははじめてなのか緊張の様子である。僕は黙って煙草を吸った。

そのとき、彼女の左隣にいた男が彼女に近寄ってくる、奥さんはどちらへ、と声をかけた。彼女は、先に赴任している夫のあとを追って朝鮮の京城まで行くといった。男は手を拍って、そりやちやうどいい、わたしも釜山まで行くところですよ、とおどけ、よろしかったらごいっしょに、と誘った。すると婦人は右脇に女の子をしっかりと抱き寄せて、下関まで主人を迎えにきております、ときっぱりと断った。ああ、そういうことですか。男は気の抜けた返事をした。

僕はその婦人が泥大島の対をきっちりと着ていて、なかなか美しいのを認めていたので、彼女のひとことで斥けられた男の方をいくらか快哉の気分で眺めた。メイド・イン・イングランドらしい背広を着ているが、猪首でそのうえ眉と目が平行していて、そろって両端が垂れている。

婦人にびしやりと断われた男はこんどは僕の隣に席を移してきた。僕はこういう手合の人間にはどうしても好意を持ってないので、いい加減にあしらうのだが、あらは一向に頓着なく、下関に着いたらぜひごいっしょにふぐを食いにゆきましよう、などといひだした。

蓮子が書いた花巻大助はここまでで終っている。書き出しだけの感じで肝心なことはなにも起らない。だが、ノートの余白に乱暴な字で、

「下関に着くと花巻大助は不承不承その男に引っぱられ

てふぐを食べに行く。その料理屋の前で一人の乞食にくわす。手を差し出した乞食の前で、男が五十銭銀貨をひらひらさせる。そしてあの出来ごとが起る」と、書きなぐってある。たぶんそれ以上書くのがいやになり、書きとおす力もなかったのだろう。

蓮子は佐藤春夫の追悼文を読みかえすのを止めて、ノートの切れ端をまた芥川作品集のあいだに折りこんだ。ここに書き写された二等寝台や白い制服のボーイなどを憶いおこしたのだ。登場する泥大島を着た婦人は蓮子の母で、オレンジ色の服の女の子は蓮子自身である。朝鮮の京城へ行くところだったのも事実だった。

生まれてはじめての遠くへの旅だった。しかも東京を離れる前に、母は蓮子をともなつて親戚の一軒一軒を訪れ、蓮子が退屈するほどながながと別れの挨拶をかわした。まあ、蓮子ちゃん、朝鮮へ行くの、たいへんだたいへんだ、と、まるでもう二度と逢えないかのように蓮子の頭をしきりになでたおばさんみたい。

そんなただごとでなきが蓮子の気持にしみこんでいたのか、夜汽車が走り出すと八歳の蓮子の胸に激しく衝きあげてくるものがあつた。窓ガラスに顔をびたりと寄せた。線路に沿った建物の灯火が、あるいは遠くの山腹の灯が、現われては消えていった。灯火は下関に近づくにつれて間遠になってゆく。見つめているとからだが締めつけられてきて、ふつと頭の芯がからっぽになった。汽車はまた波頭の白い夜の海に沿って走った。海岸の端を走るので、打ち寄せる波の音がきこえるようだった。あのとき骨身に沁みた寂寥感が、それからの蓮子の人生を支配したのではないかと考えることすらあつた。

花巻大助はその婦人を美しいと見た、と蓮子は書いたが、本物の母はじつさい眩しいくらいだった。その婦人に気易く話しかける猪首の男は父の仮装であるが、これは事実と異なっている。父は美男子だった。映画俳優なら早川雪洲、歌舞伎なら高麗屋（先々代松本幸四郎）そっくりとよくいわれた。

両親が美しかったのに、蓮子はどちらからもそれを受け継がなかった。だからなおさら父のもつ雄々しい美しさを仰ぎみていたのだ。

その父の内臓が芥川の嘲笑によって、——芥川はただ皮肉に微笑んだだけなのだろうが——歪んだ姿に切り開かれて蓮子を混乱の渦に投げこんだ。他人が読めば、たぶん、このくらいのこと、と片づけられるかもしれない。だがそのときの蓮子は打ちのめされたような衝撃を受けた。だからこそ、自分の幼い作品の中で、あえて猪首で八の字眉毛の卑俗な風貌を男に与えたのであろう。

集まりの当番になったK子の家に着くと、もう三人の仲間が来ていて、お茶やお菓子の用意にまめまめしく動

いていた。蓮子も手伝ってみかんを二つずつ配る。がむしろらな子育て時代を終えて、ようやく自分を取り戻した女たちだ。恰幅のいいM子が傍にきて、きょう話をしてくれるSさんは、大学を卒業してからどこへも就職せずに待機していて、最近講師のポストについたんですって、といった。

まもなく到着したSさんはなるほど若かった。ちょうど蓮子の息子と同年ぐらいだろうか。長身でよく整った貌に、柔らかな髪が波うっている。

五人の女たちはSさんを中心にソファーにかけたり床に坐ったり、それぞれ適当に散らばった。蓮子は、密かに期するところあり、という気持で、Sさんの正面に席をとった。



M. HORIE

ぼくはとりたてて芥川の専攻者というわけではありません。ただ、たまたま卒論に芥川を選んだのです、と、Sさんはあっさりした口調で話しはじめた。

そして、私生児という説もあるという芥川の出生をめぐるところから入っていた。それに加えて、生後八カ月で実母が発狂したことは、芥川の一生を考える場合にひじょうに大きく重い意味を持つと思われる、と話した幼いころから早熟で、小学校四年生のときに同級生を誘って「日の出界」という回覧雑誌を発行したという。東京帝大に入學すると、のちにそれぞれ世に知られる多くの良き友人たちを得た。

芥川は学校へはあまり出席せず、むしろ勤勉で真面目な学生をやや気嫌いしていたようです、とSさんはいった。

ではあの、蓮子が「花巻大助」を書いたころのクラス主任だったT先生は、芥川が敬して遠ざけた学生の一人だったのだろうか。T先生は東京帝大で芥川と同級だったので、たまに芥川の話をした。芥川はめったに教室へ姿を見せなかったが成績はいつも抜群であつたらしい。久米正雄も同じクラスにいたが、彼は服装がだらしなくて感じが悪かったそうだ。そう話した真面目なT先生は、たぶん自分が芥川からどう見られていたか気付かなかったらうと思う。蓮子は、T先生の口から芥川の名が出るたびに、すでに父が現われるあの作品を知ったあつたので、どきりとし、鬱陶しい気分に落ちこんだ。

また、芥川が第四次新思潮に「鼻」を書き、夏目漱石の知遇を得て、一躍名をあげる、という蓮子もよく知っている話でもた。

Sさんは二時間ばかりをかけて芥川の間、芸術、作風について語った。その鋭い批評眼から、芥川は作家よりも評論家に向いていたのではないか、という意見も述べられた。彼をそのときに取り巻いた女性たちの話もした。

ようやくしめくくり近くなつて、芥川がそれまでの古

典などを下敷にした虚構からしだいに現実材をとった写実的な作品に変わっていった経路を語ったところで、たとえば「保吉の手帳」などが写実的な作品です、と、Sさんがいった。

ついにSさんの口から蓮子が密かに心待ちしていた「保吉の手帳」という作品名が出た。

それこそ蓮子の父が登場する作品だった。握りしめた掌がじつとりと湿ってくる。次の言葉待って蓮子はSさんをじつと睥睨した。

だがSさんは、題名をいっただけでしごく簡単に「保吉の手帳から」を素通りしてしまった。

むりもなかった。芥川の全作品からみれば、それほど特別な意味をもたないと思われても仕方のない小品である素通りされた物足りなさ、題名だけでも語られたというねじれた喜び、それによつて甦った父への口惜しさなどがぎくしゃくと蓮子の胸に交錯した。

Sさんの話が終つて、女たちが順番に感想を述べ、また質問をしたが、蓮子は黙っていた。口を開けば「保吉の手帳から」の中に父がいることを喋ってしまいそうだった。蓮子は口を噤んだ。

芥川龍之介という客観的に確固とした位置を占めた作家をめぐるアカデミックな論議の中の、その芥川によつて、軽くしかしパッサリと切り捨てられた自分の父を投げ出したくはなかった。

切り捨てられた父親は時代の子だったという言訳もできるかもしれないが、やはり誤りを犯していたのは明らかだ。その正しくない人がまぎれもなく蓮子の父なのだ。父を裁くのは自分を裁くのと同じことだ。

自分は女だから……。優しかった母の性格を受け継いでいるのだと言いつつても、父は、いまだにその肌ざわりや体臭や声音を忘れられない蓮子の親なのだ。

散会してからも、ずっと沈黙をつづけている蓮子は、珍しくおとなしいじゃないの、どうかしたの、とM子が訝った。

(つつく)

□第12回

# 神戸文学賞作品募集

本誌は昭和51年に創刊15周年記念として神戸文学賞・神戸女流文学賞を創設いたしました。これまで左記の通りに各賞の受賞作が決定しておりますが、第11回の募集より、さらに質の向上をはかるため「神戸文学賞」の名称に統一、受賞作を一作品として、現在、広く作品を募集いたしております。

- ・第一回神戸文学賞「鳥之内ブルース」(田藤新「尼崎市」)同女流文学賞「ベットの背景」(小倉弘子「大阪市」)
- ・第二回神戸文学賞「結捨て」(奥野忠昭「大阪府柏原市」)「生活」(吉峰正人「神戸市」)
- (この回の神戸女流文学賞は該当なしで、神戸文学賞を一作が受賞)
- ・第三回神戸文学賞「自由と正義の水たまり」(斎竜一「奈良市」)同女流文学賞「夢の消滅」(大原由紀子「高知市」)
- ・第四回神戸文学賞「溶ける闇」(高木敏克「神戸市」)同女流文学賞「影と棲む」(田口佳子「伊丹市」)
- ・第五回神戸文学賞「該当作なし」同女流文学賞「痕跡」(久保田匡子「大阪市」)
- ・第六回神戸文学賞「ガチャマン」(南禅満作「神戸市」)同女流文学賞「該当作なし」
- ・第七回神戸文学賞「凶鳥の群」(徳留節「京都市」)同女流文学賞「花いちもんめ」(新光江「鳥取市」)
- ・第八回神戸文学賞「昔の眠」(服部洋介「神戸市」)同女流文学賞「薔薇の覚音」(菊池佐紀「愛媛県」)
- ・第九回神戸女流文学賞「ストラルブラグ」(桑井朋子「高石市」)「いちじく」(字山 翠「北九州市」)
- (この回の神戸文学賞は該当なしで、神戸女流文学賞を二作が受賞)
- ・第十回神戸文学賞「おとんな海賊」(塚田照夫「長崎市」)「オレンジ色の闇」(舟木かな子「神戸市」)
- ・第十一回神戸文学賞「眠父記」(田能千世子「茨木市」)
- (この回より神戸文学賞と同女流文学賞を一本化)

ここに第12回文学賞を公募するにあたり、多数の意欲的御投稿をお願いするとともに清新かつ強力な作品の出現を期待する次第です。

## 〈募集要項〉

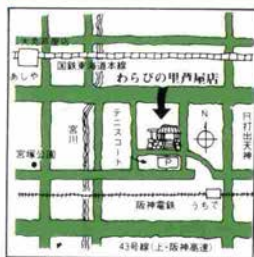
- 一、応募作品は小説とし、応募資格は問いません。ただし応募作品数は一篇に限ります。
  - 一、応募作品は未発表原稿、または締切以前、一年未満に発行の同人誌に掲載したものに限ります。
  - 一、原稿枚数は四百字詰70枚。
  - 一、原稿には住所、本名、年齢、職業、略歴を明記し、四百字程度の作品梗概をつけて下さい。
  - 一、締切りは八月三十一日(当日消印有効)
- △選考委員▽小島輝正・島 京子・川端柳太郎・杜山 悠
- 一、受賞作品発表は本誌昭和六十三年新年号誌上で、同号より作品を掲載します。
  - 一、原稿の返却、選考経過などに関する問い合わせには応じかねます。
  - 一、受賞作品の著作権は本誌に属します。
  - 一、受賞作品には副賞として賞金三拾万円が贈られます。
  - 一、原稿の送り先、お問い合わせは、神戸市中央区東町一三の一 大神ビル九階 月刊神戸っ子「神戸文学賞係」まで。
  - 電話〇七八—三三一—二二四六

主権／月刊神戸っ子



# 頒春

昭和六十二年元旦



京懐石 5,000円より  
松花堂 3,500円(午後2時迄)

## ■芦屋店

京料理  
わらびの里

芦

屋 打出小幡町30

TEL (0797) 23・5666

営業時間 午前11時～午後10時(駐車場有り)

京都本店 京都・山科区小山中島町28

TEL (075) 591・0911

新宿店 東京・新宿区西新宿2の4の1

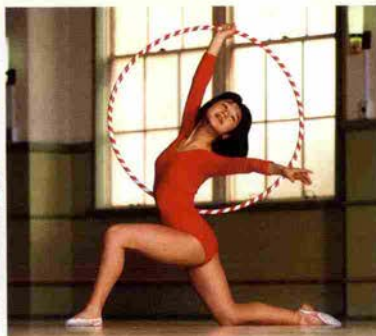
新宿NSビル1F

TEL (03) 349・8789



ブリコ  
**Brico**

阪神新在家駅南  
TEL (078) 851-4391



SPORTS CLUB ROKKO

**六甲体育館**

神戸市灘区新在家北町2丁目  
TEL (078) 841-1084



**Roller Rokko**

神戸市灘区新在家北町2-1-1  
TEL (078) 841-1088



Grand Rokko

**グランド六甲**  
ポカリスエット

神戸市灘区友田町5-2-3  
TEL (078) 841-3151(代)



味どころ **控璃古**

神戸市灘区新在家北町1-1-18  
TEL (078) 841-9555



あけましておめでとうございます  
本年もどうぞよろしくお願いいたします

小泉興業株式会社代表取締役 小泉 健二

# 神戸のうまいもんとドリンキング

## ★日本料理

讃岐名代うどん あこや亭  
布引店 ☎231-6390 三宮店 ☎332-3003 住吉店 ☎453-3737  
兵庫駅前店 ☎579-5306 ポーアイ店 ☎303-1188  
ポーアイプラザ店 ☎303-3232

北海道郷土料理 蝦夷

中央区中山手通 1-4-13  
東門前東門会館ビル1階 ☎331-7770

和食くれない

三宮生田新道浜側中央KCB 2F ☎331-0494

料亭布引大しま

中央区能内町 4-8-19 ☎221-1945

たご焼たちばな

三宮三宮ターミナル(旧柳路) ☎331-0572

民芸御食事処 五事

元町3丁目山側 ☎391-3156

炭焼やきとりトリドリ

中央区北長狭通 2-5-1  
タイシンサンセットビル2F ☎391-3028

そば処 木曾路

フラワーロード市役所前KビルB1F ☎231-1295

どじょう吾作

中央区元町通 2-7-20 ☎321-0539

鍋・しゃぶしゃぶ 三十三間堂

神戸ワシントンホテル2F ☎331-6111

割烹 銀坐

神戸ワシントンホテル2F ☎331-6111

手打そば処 庵

市役所花時計・ハニービルB1 ☎331-0260

季節茶屋 一輪一房

中央区三宮町 1-8-1  
さんプラザB1F ☎331-2280

天ぷら天ふじ

中央区下山手通 2-11-24  
大金ビル1F ☎392-3630

SAKE & KAISEKI 喜兵衛

中央区山本通 2-1-1  
コーナハウス2階 ☎242-5411

懐石料理 馳走

中央区山本通 4-26 ☎222-6022

蟹・土料理 千手船

きんちか店 ☎391-4875 山手店 ☎391-9314

活勢海老料理 中納言

神戸プラザホテル ☎331-7918 元町東店 ☎392-1685

懐石料理 楽珍

阪急西口店/阪急三宮西口北レインプラザ3-4F ☎321-5200  
宴会 庵/神戸三宮生田新道 西ビル3-4F ☎332-1717

機料理 青柳

中央区元町通 3-63 ☎331-2292

## ★各国料理

レストラン やまと

中央区生田町 1-4-20 ☎242-2020

レストラン 皮くあらわ

中央区中山手通 2-15-8 ☎221-8547 231-3315

ステーキハウス グリル青山

中央区下山手通 2-14-5(トアロード) ☎391-4858

スカンディナヴィア料理

と世界の民族音楽の店  
中央区山本通 3-1-2 回教寺院前 ☎242-0131

ステーキハウスの果林

神戸プラザホテル2F(元町駅南) ☎331-4558

すていきハウス 長崎

神戸市中央区布引町 2-3-16 ☎221-1086

ステーキ 花

中央区布引町 4-2-7 神戸花ホテルB1 ☎221-1087

メキシコ料理 ティファアーナ

中央区中山手通 1-21-13  
パールコーポラスビル1F ☎242-0043

フランス料理 ビストロドゥリオン

中央区山本通 2-13-6 ☎221-2727

レストラン 麻布キャンティ

中央区北野町 4-1-12 異人館倶楽部 ☎222-5380

ボリネシア料理 フィッシャーメンズポート

神戸港第4突堤ボートターミナル ☎331-0301

レストラン 三光

中央区北長狭通 2丁目8の6 ☎331-0226  
321-5861

喫茶・レストラン カフェパウリスタ

三宮・トアロード(バウリスビルB1) ☎391-0061

ステーキハウス れんが亭

中央区下山手通 2-5-5 ☎331-7168

BARBECUE & STEAK 六段

中央区元町通 3-8-4 ☎331-2108

フランス料理と神戸ビーツ レストランフック

フランス風中国料理 夢香亭

中央区栄町通 2-9-11 ☎321-3453  
321-3207 332-4129

フランス料理 グラシアニ

北野異人館通りローズガーデン山側 ☎242-0597

ドイツレストラン ハイデルベルグ

中央区山本通 2-8-15  
ローズガーデン2F ☎222-1424

ドイツワイン・コーヒー ティック

中央区北野町 4-9-14 ☎222-3200

韓国宮中料理 鳳仙

中央区北長狭通 1-6-10 ニューキャスビル6F ☎391-2147

スペイン料理 エル・ソル

神戸市役所前・フラワーロードビル1F東側 ☎232-3636

シルクロード料理 ぶはら

スパイスレストラン  
三宮町 2-3-9 タキビル2F ☎331-1734

神戸ビーフ登録産店 和黒くわこく

三田内通通運部通 中央区中山手通 1-24-1 ☎222-0678

指定店 ビルサイドテラス1F

スコッチ・ローストビーフ ガスライト

神戸ワシントンホテル9F ☎331-6111

フライング・スペイン料理 エル・パンチョキタノ

中央区北野町 3-2-4  
アニールド・マンション1F ☎241-1344

中国料理 萬壽殿

中央区中山手 2-20-4 ☎231-4531

フランス料理 ルー・サロメ

中央区中山手通 2-3-7  
第2穴門亭ビル1F ☎392-1251

北イタリア料理 ベルゲン

中央区山本通 2-3-2 ☎241-6952

SAPPORO BEER RESTAURANT ニュームンヘン神戸大使館

三宮生田ロード ☎391-3656

ステーキハウス 伊藤

中央区御幸通 7-1-20 大信ビル8F ☎232-3031

炭焼ステーキ フランス料理 GOONY KITANO(クニー)

中央区北野町 4丁目 ☎242-2562

神戸風レストラン 能芭亭

中央区北野町 2丁目1-10 ☎291-0661

フランス料理 シャンテクレール

三宮ターミナルホテル4F ☎232-1682

フランス料理 トウールドル

中央区諏訪山公園展望台 ☎241-0168

ステーキ & ドリンク 神戸館

中央区下山手通 2-9  
アマツビル1F ☎321-2955

広東料理 神戸元町別館牡丹園

元町通 1丁目協和銀行北側小路西入る ☎331-5790 6611

レストラン ラ・タール

中央区山本通 3丁目3番8号(パールビルB1) ☎241-3170

海老料理 伊勢エビ屋

中央区北野町 4-6-8 ☎222-0766

## ★喫茶

喫茶 たちばな

中央区元町通 3-9-2 ☎391-1051

サロン・ディ・カレット

元町一番街 ☎321-1739

カフェ ラセー

新聞会館1F ☎221-8155

喫茶 ガーデニア

中央区東町113-1 大船ビル1F ☎321-5114

喫茶 ガーデニア

中央区三宮町 3-8 大和ビル ☎392-4004

LE CAFE ガレ

中央区山本通 2-3-14 ☎242-7144

宮本のコーヒー にしむら珈琲店

中山手店・中央区中山手通 1-26-3  
三宮店・国鉄三宮駅山側 ☎221-1872 231-9524

センター街店・中央区三宮町10-27 ☎391-0669

新野店・山本通 2-1-20 ☎242-2467

(会 員 制) 3F事務所 ☎242-1880

阪急三宮東口山側 ☎332-5727

喫茶 モーツアルト

中央区山本通 2-6-11  
グランドマンション1F ☎241-3961

喫茶 ん

中央区三宮町 2-9-6(トアロード) ☎391-1589

喫茶 英 屋

神戸国際会館側 ☎251-4562

喫茶 葡 萄 屋

三宮センター街3丁目 ☎391-9006

喫茶 館 仏蘭西屋

三宮・フラワーロード(神戸市役所前) ☎232-4643

デザート喫茶 ぶどうの木

三宮・フラワーロード(神戸市役所前) ☎251-3231

ウィーン菓子 モーツアルト三宮

中央区横土通 8-1-29 ☎251-3616

カサハラビル1F

ウィーン菓子 モーツアルト元町

中央区三宮町 3-1-3 ☎332-0886

神戸大丸山側

茶 房 ナイール

中央区下山手通 6丁目2-7 ☎341-7376

喫茶 モンブラン

フラワーロード市役所前Kビル1F ☎231-3605

コーヒーラウンジ カフェ・ド・パリ

神戸ワシントンホテル2F ☎331-6111

TEA ROOM & LITTLE SHOP ファミリア北野坂ハウス

中央区北野町 2-8 ☎222-3535

純喫茶 元町サントス

中央区元町通 2-3-12(元町通1番街沿側) ☎331-1079

コーヒーラウンジ City of City

中央区三宮町 3-9-1 ☎331-1117

ティー&スナック エポック

中央区元町通 3-8-8(浜側) ☎331-3694

喫茶 テルミー

中央区国鉄元町駅南側 ☎332-1682

炭火焙煎珈琲 珈琲倶楽部

神戸市中央区北長狭通 1-10-6(生田筋)  
ムーラビル1F ☎332-2016

炭火焙煎珈琲 萩原珈琲店

神戸市中央区中山手通 2-21-3  
☎222-1457

Salon & Cafe BLUE MOUNTAIN

神戸市灘区八幡町 4-6-16  
(阪急六甲駅下車南口西南約3分)

TEA LOUNGE T/O/A

神戸市中央区下山手通 3-1-15  
☎331-4412

フルーツショップ ベニマン

神戸市中央区北長狭通 4丁目3番24号 ☎331-8584

フルーツバー

神戸市中央区北長狭通 4丁目3番24号 ☎331-8584

コーヒー C A R A T

ラウンジ キヤラット

阪急三宮駅東口山側 白鷺ビル3F ☎331-5141

## ★CLUB

club 飛鳥

中央区中山手通 1-2-6 ☎331-7627

club 小万

中央区東門前中島ビル3F ☎391-0638 4386

Member's Lounge 異人坂

中央区北野町 2-9-22(三本松不動北) ☎222-2001

クラブ 千

中央区下山手通 2-12-6 ☎391-1077

club なぎさ

中央区北長狭通 2-11-2 ☎331-8626

クラブ るらん

中央区中山手通 1-3-1 ☎331-2854

club B A R Moon Light

三宮・生田筋Club ☎331-0157/Bar ☎331-9554

club コトブキ

中央区三宮本通り ☎331-1875

CLUB N E

中央区北長狭通 1-5-9 ☎331-4143 5625

## ★STAND & SNACK

スナック CÉLINE

中央区北長狭通 2-5-1 タイシンサンセットビル5F  
☎332-6020

レストラン BAR 薔薇屋

中央区北長狭通 5-5-22 ☎351-4311

サロン アルバトロス

中央区中山手通 1-22-10  
大和ナイトプラザ2F ☎231-3300

プッシュンソン

音楽の家 エトワ

中央区三宮町 3-8-12 ☎332-1755

神戸トアロード三宮センター街西入口 スカイエアビル3F

スナック 雅

神戸市中央区北長狭通 1-5-9 KCBビル3F ☎332-0051

Theater pub トム・キャンティ

中央区下山手通 2-8-2  
神戸ワシントンビル1F ☎331-2122

スタンド グラムール

生田筋岸ビル地階 ☎331-4637

サロン 神戸時代

中央区中山手通 1-23-10  
モンシャットウコトビル ☎242-3567

カナルタウン サヴェイ

高梁山側 テキの店北 ☎331-2615

ミュージック ラウンジ サントノーレ

トアロード店・中央区下山手通 2-5-6 ☎391-3822

北野店・中央区中山手通 1-22-10 大和ナイトプラザ6F ☎221-3886

スタンド 千里

中央区下山手通 2-11-1 ☎331-4730

素舌 洞でっさん

中央区北長狭通 1-5-12 ☎331-6778

STAND マッシュケナダ

中央区中山手通 1-4-6 ☎331-5587

Adult Disco セキーナ

中央区加納町4丁目7-11 4F北野坂ビル8F ☎332-0666

米広光夫の ミュージックサロン

中央区中山手通 1-21-13 ☎241-1771

Wine and Something 珍地理屋

中央区中山手通 1-22-10  
大和ナイトプラザ1F ☎242-0288

レジャービル 西村ビル

中央区北長狭通 2-12-10(生田筋) スーパーステーション  
ランドハウス45rpm 虎造 楽珍 エスカイクラブ

スタンド かてな

中央区中山手通 1-7-10 英健ビル1F ☎331-1316

スナック アダルト

中央区北長狭通 1-20-2 笹原ビル5F ☎321-5885

CAFE RESTAURANT & BAR MARLENE

中央区北長狭通 1-2-13 ニューリッチビル5F  
☎331-9050

スナック CÉLINE

中央区北長狭通 2-5-1 タイシンサンセットビル5F  
☎332-6020

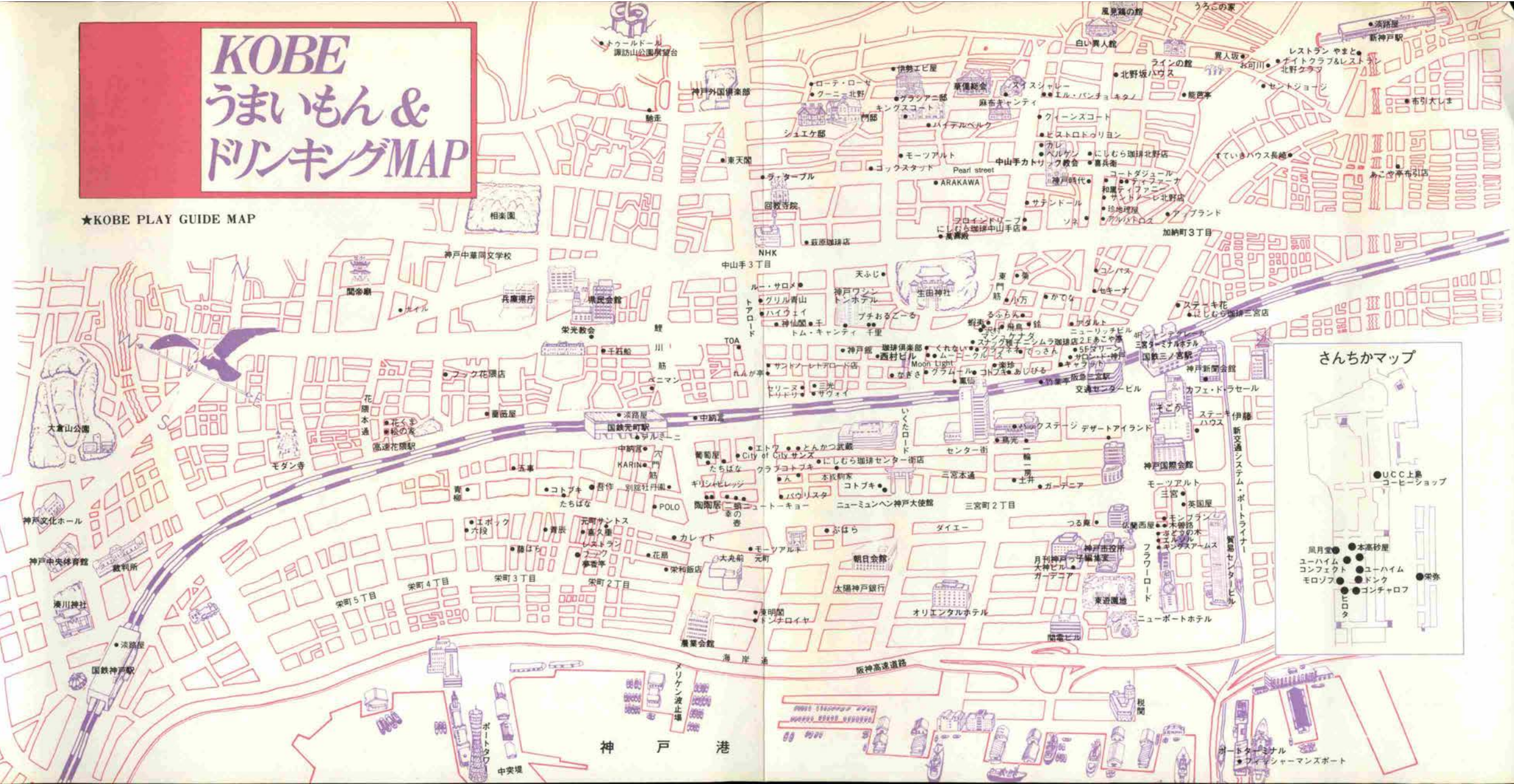
レストラン BAR 薔薇屋

中央区北長狭通 5-5-2

# KOBE

## うまいもん & ドリンクMAP

★KOBE PLAY GUIDE MAP



さんちかマップ



謹  
賀  
新  
年

海老



活伊勢海老料理



中納言

神戸プラザホテル店 ☎ (078) 331-7918

神戸元町東店 ☎ (078) 392-1685

芦屋店 ☎ (0797) 23-2535・2662

大阪心斎橋店 ☎ (06) 244-9866~7

大阪駅前第3ビル店 ☎ (06) 341-5460

大阪駅前第4ビル店 ☎ (06) 344-8685

国鉄元町駅東口南正面  
神戸プラザホテル2F  
国鉄元町駅東口も三宮方面へ  
歩いて30分 徒歩可

国鉄元町駅山側  
2F 2F 2F

南区内船場 4-5-8  
第2ビル 6F 12F

北区船場 1-3-300  
駅前第3ビル 2F

北区船場 1-1-1  
駅前第4ビル 1F

厳しい舌によって、磨かれ  
鍛えられてきた中納言の味。  
おいしいものと出会った時の  
喜びを、ひとりでも多くの方  
に味わっていただくことが、  
私たちの最高の喜びでもある  
のです。バラエティ豊かにく  
りひろげる味の宴。本年もよ  
ろしく願っています。



・旬の味店  
**御膳丹**  
芦屋サウザンドビル1F ☎(079)3410369  
季節のおいしいものをご賞味下さい。  
朝粥1500円 昼のコース1500円  
夜のコース3500円



・京焼専門店  
**陶雅堂**  
アルベジオ風川3F ☎(0798)2212120  
1/5から新春おとし玉セールを致します  
3万円以上お買い上げのお客様に芦屋、御  
膳丹のお食事券を2名様に差し上げます。



・うどん・そば・和菓子  
**ちから餅**  
トアロード ☎33113250・3151  
昨年夏にリフレッシュオープンし、  
老舗の味が新しさの中にとけ込んでい  
ると評判です。



・菓子処  
**二つ茶屋**  
中央区元町通3-7-9 ☎33110755  
メロウタイプの自然な甘さが心地よ  
い。フレッシュバターとスイートポテ  
トの新しいデユエット。

SHOPPING

# A Happy New Year

今年も心はずむ神戸ショッピングを……



・マリン&乗馬  
シャス  
神戸国際会館1F ☎221-2603  
'87ライディング、アクセサリーが揃いました。その他、当店オリジナルグッズも多くとり揃えております。



・べつ甲  
太田べつ甲店  
元町一番街山側 ☎331-6195  
天然のべつ甲で造られた、上品な色合いの帆船。'87の門出を豪華に、そして大らかな気持ちで祝いましょう。



・ダンス教室  
高木スタジオKOBЕ  
三宮センター街西角 ☎331-7997  
誘われてDANCINGノジャズダンス・ステージヤズダンス・エアロビクス等……。お気軽にご見学下さい。



・画材・額縁  
末積製額  
トアロード・大丸前 ☎331-1309  
新春を古風な日本画「富士の山」で迎えましょう。絵の飾り始めにぜひどうぞ。

明けまして  
おめでとうございます

昨年十一月二十七日に移転し、新装オープンいたしました。変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。



漫画家の高橋孟さんを囲んで。

**槐 家** KAIYA

〒650 神戸市中央区下山手通2丁目17-10

T E L (078) 332-1437

〈昼〉 午前11:30～午後2:00

〈夜〉 午後5:00～午後11:00



一品小鉢から会席、鍋ものまで、20名様御宴会も承っております。毎月8日18日28日、御煎茶の会を無料にて催しております。遊びにいらして下さいませ。



# 〈迎春〉

——新年の慶びを味に託して——



ステーキB ¥5,000▶

A ¥3,000 C ¥7,000  
パン又は御飯、サラダ、フルーツ付  
(写真は2名様)

◀肉のシャブシャブ ¥3,500

ソバ又は御飯、フルーツ付  
(写真は2名様)



ご同伴、ご家族連れでも、手頃なお値段  
段でお気軽にご利用頂けます。また、ご  
宴会には鯛の活造り、かに、肉の会席コ  
ースもご利用下さい。新年のスタートは、  
ぜひ味の殿堂レストラン三光で。

## 会 席

- 松(2名様より).....御一名様 ¥5,000
- 竹(4名様より).....御一名様 ¥6,000
- 梅(4名様より).....御一名様 ¥7,000
- 牡丹(4名様より).....御一名様 ¥8,000

# レストラン 三光

お部屋御希望の方は、お電話で御予約下さい。  
——第1、第3日曜日定休——

(附近概略図)



神戸市中央区北長狭通2丁目8の6  
TEL 331-0226・321-5861

# 炭火焼き和風料理……

# けいじん

神戸市中央区加納町四丁目七一二四  
電話(〇七八)三九二一〇二六六  
午後五時～午前二時 無休



劇作家・小池一夫先生命名の  
京風肉料理店。芸術家、マスコミ  
関係者にもご晶屑を頂いています。  
和牛を素材にした当店独自の料理  
の数々を良心的価格で提供。新年  
会など各種宴会も承っています。

・へれ 代三、〇〇〇円  
・ろーす 代一、九〇〇円  
・たん 代一、二〇〇円  
・特選コース 代五、五〇〇円  
・蔵(あられ)コース 代六、〇〇〇円  
・華厳(けいじん)コース 代一〇、〇〇〇円  
※当店の牛肉の焼物料理には、すべて備長炭を使用  
※ご予約に限りしやぶしやぶも承ります。



# 華麗な夜のストーリーテラーはあ・な・た

A  
H  
A  
P  
P  
Y  
  
N  
E  
W  
  
Y  
E  
A  
R  
  
'87



とくを選びぬかれたエグゼク  
ティブのための会員制クラブ、  
それがクラブあざみ。昼間の喧  
噪を忘れ、心地よい酔いが広が  
るとき、そこには煌めく華麗な  
世界が貴男をお待ちしています。

CLUB  
**あざみ**

神戸市中央区中山手通 1 丁目 5 - 6  
あざみビル 2 F (東門筋)  
PHONE (078) 3 3 2 - 2 0 2 5



1 周年記念パーティ (1986.11.18)





メニューは、とんかつとえびかつだけ。吟味された素材と揚げ加減が老舗の味の秘訣です。ぜひご賞味下さい。

とんかつ むさし

本店/三宮・センター街 ☎321-0634 11:00AM~7:30PM水曜休  
さんプラザ店/三宮・さんプラザB1 ☎391-2427 11:30AM~8:00PM 月曜休



冬の味覚の王座、日本海特産松葉がに、生のかにすき、新年会のご予約承っております。

政府登録国際観光旅館

ホテル全但

〒650 神戸市中央区下山手通4-5-1(全但会館)  
市営地下鉄山手(県庁前)駅下車東出口2番1分  
電話神戸078(391)3838(代)



味にまごころを伝えた豊富なメニュー。生スパゲティと神戸ビーフを生かした各コースを御賞味ください。

出張パーティも承ります

RESTAURANT

やまと

新神戸駅前そごうマークのビル2F  
AM11:00~PM 9:00 ☎242-2020(代)



シックなムードのラセルが、大丸カーポートにオープン。ショッピングや仕事の合間にくつろぎの時間を。

カブエド・ラセル  
LASSERE

神戸市中央区明石町40(大丸カーポート店)

☎(078)332-6498

TASTE OF KORE

A  
HAPPY  
NEW  
YEAR

今年も  
トム・キャンティ号に  
ご来船  
下さい！



キャプテン小松誠二



マスター 楠晴夫



くつわともこ / 中川悦子 / 秋武登志子  
シャンソン ウェイトレスウェイトレス



シェフ  
鹿子嶋和久



カウテル近藤幸一郎



シェフ  
中田実朗



カウテル近藤幸一郎



ホール  
岡田照子



Tom Chianti\* 号



SKD嵯峨みさ緒来演!!

Restaurant-Bar

Tom Chianti\*

トム・キャンティ

新年会のご予約をどうぞ！

神戸ワシントンホテル1F  
〈年中無休〉TEL (078) 331-2122

- 1月21日(水) SKD嵯峨みさ緒  
出演
- 新年は3日 PM 5:00～AM12:00  
4日 PM 5:00～AM12:00  
5日 PM 1:00～PM11:00

## ローテローゼでブロンズ像展

ドイツワインと料理のお店「ローテ・ローゼ」にて、11月1日～15日、ブロンズ像展が開かれた。ドイツの彫刻家、ベルント・アルテンシュタインの作品群で、以前展覧会が行われた大阪ドイツ文化センター館長と、ローテローゼの社長が懇意だった為、ワインフェアと共に店内で展示されたもの。人間の体の動きのダイナミックさ



店内と作品「答める」

と、立体的な次元の広さなどが作品「突破」「出発」などによく表われていた。

## 異人館街に和食器のお店

昨年7月にオープンした、うつわのお店「コム・シェンヌ」が評判を呼んでいる。

気どりのない毎日使う手にじっくり馴染む漆器やガラス類は、全部この店のオリジナル。シンプルな塗り、土ものの食器がズバリ店内に並べられている。「和食品を洋風に使う」と新しい発見がありますよ。うちの器はそのまま見て頂くよりは、



オーナー木村さん(左)

中に料理を盛った方が映えるんです。」とオーナーの木村さん。

■山本通2-3-14 林ビル3F  
☎241-2261 日・月休

フランス料理  
北野クラブ

中央区北野町1丁目5-7  
☎222-5123  
11AM～2:30PM  
(ランチ/クィンズランチは2:30PMまで)  
5PM～10:30PM(ディナー)

WOODY FASHIONED STYLE  
RESTAURANT SALUTE  
レストラン サルーテ

中央区北野町3丁目14-13  
風見鶏の館を西へ50M  
☎251-9060 11AM～9PM 月曜休

COFFEE & SOUVENIR  
うろこの家

中央区北野町2丁目  
☎242-6530

異人館のユーハイム  
ラインの館

中央区北野町2丁目10-24  
☎222-6266  
10AM～6PM 第3水曜定休

神戸割烹

## お可川

中央区北野町1丁目5-10  
☎222-3511  
11AM～9PM

スキャンディナヴィア料理と  
世界の民族音楽の店  
ゴックスタッド

中央区山本通 回教寺院前  
☎242-0131  
5PM～1AM 水曜定休

フランス料理  
グラシアニ

中央区北野町4-8-1  
☎242-0597 火曜休 予約制

フランス料理  
ゲーニー北野

中央区北野町4丁目  
北野林マンションB1F  
☎242-2562

手づくりのシフォンケーキと  
サンドイッチ  
ファミリア  
北野坂ハウス

中央区北野町2(北野坂)  
☎222-3535  
11AM～6PM 月曜休

フランス料理  
ビストロウリオン

中央区山本通2丁目13-6  
☎221-2727  
正午～10PM 月曜休

ロブスター・伊勢えび料理専門店  
キャプテン・テンプル  
伊勢えび屋

中央区北野町4丁目6-8  
☎222-0766  
10AM～10PM 年中無休 駐車場有

英国風レストラン  
St. George Japan

中央区北野町1丁目2-17  
☎242-1234  
11AM～4PM(ランチタイム)  
5PM～11PM(会員制)

会員制レストラン  
インターナショナルゾーン  
CASABLANCA CLUB  
カサブランカクラブ

中央区北野町3-1-6  
☎241-0200・222-0182(パビリオン)  
入会金10,000円 お食事2,000円～  
17:00～24:00 (フルコース)

メンバーズラウンジ  
異人坂花苑

中央区北野町2丁目9-22  
☎222-2001  
11AM～5PM(ティータイム)  
5:30PM～12PM(メンバーズタイム)

ギャラリー・ティールーム  
神戸時代

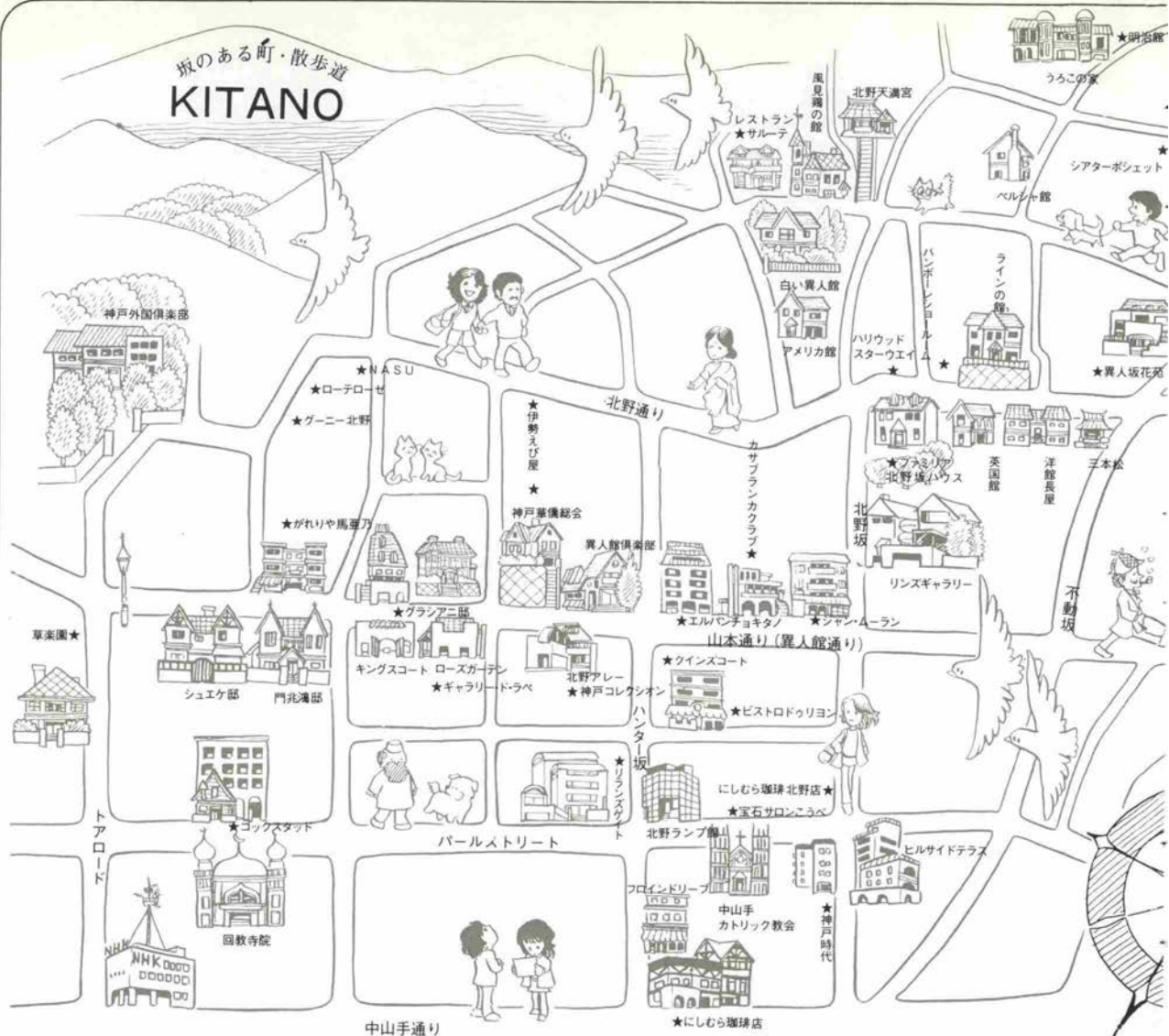
中央区山手通1丁目23-10  
モンシャウトコブキビル  
☎242-3567  
11AM～5PM(ティータイム) 土曜休  
6PM～12PM(ドリンクタイム) 日祝休

フランス料理  
ジャン・ムーラン

中央区北野町3丁目1-1  
☎242-4188  
11:30AM～2PM  
5PM～10PM 水曜休



坂のある町・散歩道  
KITANO



「環境Q」能勢の現地で

# 映画発祥の記念碑

開港120年祭に向って制作開始！



能勢の石切場で映画記念碑のスクリーンになる巨大石（カメラ／米田定蔵）

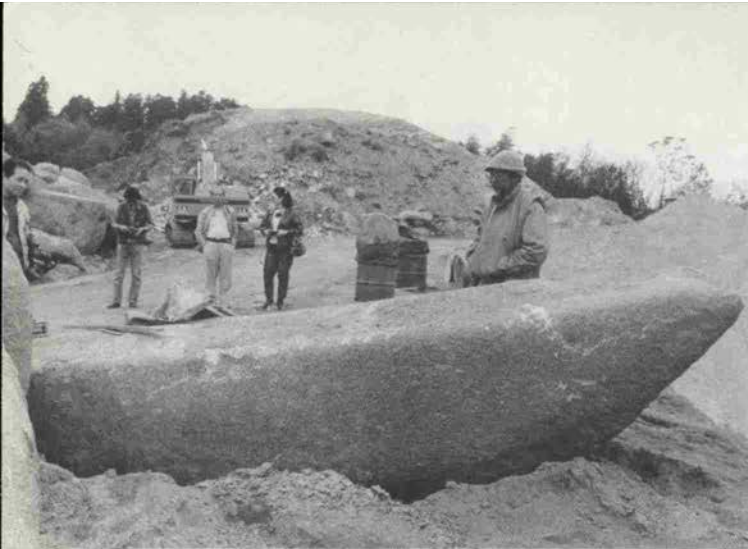
## その名もメリケンステージ

映画記念碑の採石場を訪ねて。

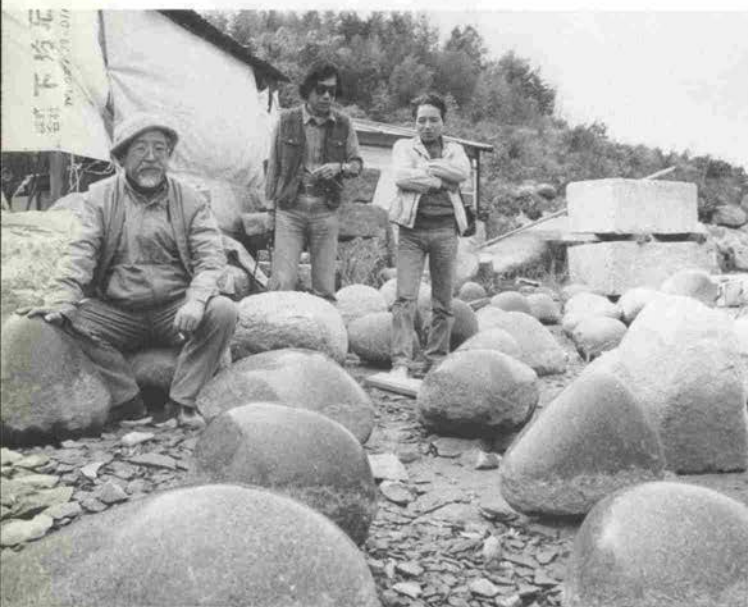
環境Qの増田正和さんの先導で、西国街道から猪名川の左岸沿いに、国道四二三号線を北へ。池田から亀岡へ抜ける渓谷の紅葉を賞でながら約一時間半、豊能郡豊能町切畑の現場に着く。能勢の妙見さんから東へ直線で五キロ余り、五分も走れば京都府境という山懐ろ、国道から少し入ると赤土を摺り鉢状に広々と掘り返された底に、自然石の巨岩がゴロゴロ、こんどの記念碑のメインとなるのもその一つで二七メートルもあるという。Qのメンバーの山口牧生さんはすでに到着されており、小林隆一郎さんも間もなく合流され、スクリーン風に巨岩の胴中を奥行、五メートルばかり抜く荒掘り作業が漸く終った苦労話を交々話して下さった。座席風に並べる玉石の磨き作業も併行して進んでいたが、水道などあるはずもなく、磨きに必要な谷川の水を運ぶ労力だけでも大変だとお見受けした。

それにしてもこの石はどうして角がなく円いのだろうか。神戸大の先生が地質学的に解説された現場の標記によると、この地は八千万年前の地質で、長年月の間に風化してとれた角が、赤い土砂となりその中に埋れているのだということらしい。

玉石はまず表面を荒削りしてグレンダーをかけ、さらに砥石で磨きをかけると黒御影として輝きを



これぞ、ステージ石 / 船に似た形が面白い



かわいい観客石は1つ1つ丁寧に研磨されて行く



スクリーン石の穴に入った「環境Q」のメンバー

増すのだが、厳寒期に入ると表面の水が凍って作業ができなくなる。「急がねば...」字を彫る時間」とQ同人三氏、ご苦労が察しられる。完成したら「メリケン・シアター」と命名する予定だったが、先に同名の名乗りを上げた企業があるとか、それなら「メリケン・ステージ」にしたら。「あつそれがいい、それがいい。その方がピツタリする」と異口同音。

明春四月、メリケンパークのオーブニングに合わせて据付けられる造形の美を夢みて、作業の無事進行を念じつつフリーカメラマンの米田さんの車で帰路についた。

松井一郎